

令和7年
2025年

10月24日
金曜日

第11820号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



伊藤ハム米久ホールディングスが業務用商品発表会を開催……P4

- ▶ 関東農政局が牛肉の輸出拡大セミナー開催、輸出事例などを紹介…… P 2
- ▶ 新厚労大臣に上野賢一郎衆議院議員を起用、初入閣…… P 3
- ▶ 鳥フル等家畜防疫対策本部を開催—自民党…… P 3
- ▶ 伊藤ハム米久ホールディングスが業務用商品発表会を開催①…… P 4
- ▶ 豪大使館商務部が、万博の豪州パビリオン報告会を開催、期間中は300万人以上が来場し、165のビジネスイベントを実施…… P 4～5
- ▶ 第96回家禽疾病小委、疫学調査結果など踏ま絵議論—農水省…… P 5
- ▶ 10月の食品価格動向調査、国産牛は25円安、豚は2円安…… P 6
- ▶ [SM販売統計調査9月]畜産品の売上高は前年同月比3・0%増…… P 6
- ▶ 【輸入牛現物相場】先高観でCカタ系・モモ系の引き合い強まる…… P 7
- ▶ 【ブロイラー市中現物相場】ブラジル産モモ正肉、カット物とも一段高…… P 7
- ▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉…… P 8
- ▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況〈輸入牛肉〉…… P 9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]23日…… P 10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]23日…… P 11

注目のヘッドライン

関東農政局が牛肉の輸出拡大セミナー開催、輸出事例などを紹介

関東農政局は22日、牛肉の輸出拡大セミナーを東京食肉市場内で会場とオンライン配信のハイブリッド形式で開催した。

…詳細はP2

鳥フル等家畜防疫対策本部を開催—自民党

…詳細はP3

りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12
営業一課 / ☎ (03) 3919-2929 FAX (03) 3919-2930
総務 / ☎ (03) 3919-2980 FAX (03) 3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

関東農政局が牛肉の輸出拡大セミナー開催、輸出事例などを紹介

関東農政局は22日、牛肉の輸出拡大セミナーを東京食肉市場内で会場とオンライン配信のハイブリッド形式で開催。牛肉の生産・流通の関係者におけるさらなる輸出拡大の機運醸成を図るため、海外における日本産牛肉の販売状況、輸出事例を紹介するとともに、パネルディスカッションが行われた。

関東農政局の加藤貴司次長、日本畜産物輸出促進協会の作山壮一事務局次長のあいさつに続き、牛肉輸出協議会の植村光一郎理事(上写真、㈱ニイテック役員・監査役)が日本産和牛の海外での販売状況について講演した。

植村理事はこれまで行ってきた世界各地での和牛輸出プロモーションについて、当初は日本産和牛の知名度が現在のように高くなく、豪州産WAGYUなどが一般的だったことから、観衆を集めるのに苦労したことを紹介。さらにステーキの本場ニューヨークでは「赤身大国の米国では受け入れられない」とも言われたと述べた。しかし、会場で和牛肉を回覧すると、その霜降りが「芸術的な美しさ」と評価され、実際に食べてもらおうと、「軟らかいを超え、メルティー(とろけるよう)だ」と絶賛された。これを機会に、「世界中どこでも和牛は受け入れてもらえる」と確信したと明かした。「現在は日本でも霜降りがあまり入らない方がいいともいわれるが、そうではない。和牛は和牛らしく、とがった食材であるべきだ。究極を追い求めることが日本産和牛の生きる道。希少性のある、また特長あるおいしい牛肉であることを戦略的に営業活動していくべきだ」とした。また、実際に顧客となる企業へ向けて現地スタッフへの教育活動を行い、和牛の生産工程、和牛肉の特長、部位の特長、カット方法、調理特性について徹底的に指導。まずBtoBの教育をしてプロフェッショナルになってもらうことが望ましいとした。その他、現地バイヤーを招へい。日本の食肉学校や食肉市場、さらにスペック開発やカット場の現場に招き、流通の活性化を行っているほか、生産農場の見学や試食体験を実施。「食材は生産された工程や地域、風土などが頭の中に浮かび、そのイメージの中で味わうので、生産工程を示すことは非常に効果がある」とした。

続いてタイ輸出支援プラットフォームの忠田吉弘

事務局長がタイ市場のトレンドについて講演。小川&フードサービス(株)営業部の田塚浩之課長(下写真)と(株)渡部畜産の渡部哲也社長が自社の牛肉輸出の取組事例についてそれぞれ講演を行った。

田塚課長は小川グループが輸出に取り組み始めた契機について、東京食肉市場での認証取得(タイ、ベトナム、マカオ、ミャンマー)、国内市場の変化(赤身肉ブーム到来、霜降り肉の需要鈍化)、輸出機運の高まり(安全・安心・高品質な日本の食文化に強い関心が寄せられている)を挙げ、グループとしても輸出認定を取得し、輸出のチャレンジを始めたことを紹介。輸出の意義について、「日本の食の魅力を世界に届ける」としており、国内で培ったノウハウを生かし、海外にも安全・安心な牛肉を届けており、グループとしても新しい柱として成長を目指しているとした。実際の取り組みでは、現地の嗜好に合わせた商品提案や、現地で開催される展示会などにパートナー企業と共同出展し、和牛をPR。また、英語版パンフレットなども作成。自社の品質へのこだわりとその裏付けを伝えるとともに、和牛の特長やおいしい食べ方・調理方法などの理解浸透を図っている。新規輸出先の開拓を優先して取り組んでおり、輸出入を希望する企業との接点を増やし、輸出商談会への積極的な参加、現地パートナーへの同行商談などを実施。「品質」「安心」「食文化」など日本産牛肉の強みを生かし、「より多くの国や地域にその魅力を届け、業界全体の発展に貢献したい」と強調した。

その後のパネルディスカッションには植村氏、田塚氏に加え、日本通運(株)国際航空貨物第六営業部第二課の佐原潤課長、さらにスターゼン(株)バンコク駐在所の宮地達也所長(オンライン)が参加。それぞれの立場から意見を述べた。



新厚労大臣に上野賢一郎衆議院議員を起用、初入閣

高市早苗首相は21日、厚生労働大臣に上野賢一郎衆議院議員を起用。初入閣となる。

上野新厚労大臣(昭和40年8月30日生まれ、滋賀県出身)は、京都大学法学部を卒業後、自治省へ入省。ロンドン政治経済学院研究員、総務省課長補佐

などを経て、平成17年衆議院議員初当選。その後、国土交通大臣政務官や財務副大臣などを歴任。



鳥フル等家畜防疫対策本部を開催—自民党

自民党は23日、鳥インフルエンザ等家畜防疫対策本部を党内で開催し、今シーズンの鳥インフルエンザの疑似患畜確認などについて議論した。

冒頭、葉梨康弘本部長(写真)は「昨日、北海道で鳥インフルエンザの発生が確認され、警戒態勢にしっかり入っていかなければいけない。季節柄、われわれとしても緊張感を持って警戒していく必要があるので、活発な意見をお願いしたい」と述べ、続いて、宮下一郎会長は「これまでの経験を生かして、対策パッケージが効果をしっかりと発揮できるように取り組んでいく必要がある。卵の価格も上がってしまうので、安定供給という観点からも重要な課題である」と話した。

その後、農水省が今シーズンの鳥インフルエンザの疑似患畜確認について説明を行った。

北海道では15日、野鳥における高病原性鳥インフルエンザの陽性事例を確認しており、このような中、北海道で22日、令和7年シーズン初となる家禽での高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜陽性事例1例を確認した(発生農場=白老町、飼養羽数=採卵鶏約46万羽)。この発生を受け、①鳥インフルエンザと考えられる家禽が確認された場合、農水省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること②現場の情報をしっかり収集すること③家禽業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと④国民に対して正確な情報を迅速に伝えること—の総理指示が出された。これを踏まえ、農水省では、関係省庁と連携し、都道府県が実施する防疫措置(当該農場の飼養家禽の殺処分および焼埋却、移動制限区域・搬出制限区域の設定、消毒ポイントの設置など)について、職員の派遣等、必要に応じた支援を実施するほか、疫学調査チー

ムの派遣、早期発見および早期通報ならびに飼養衛生管理の徹底を改めて通知し、家禽農場における監視体制の強化を実施していく。

このほか、6年度シーズンの疫学調査の結果を踏まえ打ち出された、鳥インフルエンザ対策パッケージについて紹介。「飼養衛生管理の強化」では、集中地域や続発地域を大臣指定地域として、令和8年1月に告示で指定予定とする他、飼養衛生管理基準の改定の際、防疫対応に困難が生じやすい大規模農場における^{じんあい}塵埃対策などを盛り込むこととしている。また、再発農家などへの指導や手当金減額率の見直しについても、今年10月以降の発生事例から適用していく。「分割管理の推進」においては、殺処分の影響を軽減するため、農場の分割管理について飼養衛生管理基準(省令)に明定し、大規模農場においてその実施の検討の義務付けを示している(今年10月施行)。「ワクチン接種の検討」では、鳥フルワクチン接種の実行可能性や妥当性について判断するため、まずは専門家を集め、技術的な事項について議論。第1回検討会を8月19日に開催した。今後、都道府県や各業界関係者らと実務的な課題について議論する実用化検討会を開催し、導入に関する検討を継続し、接種が実行可能と判断されれば、接種プログラム(案)を作成予定だ。「まん延防止に向けた防疫措置の見直し」では、殺処分・死体処理作業の効率化を図るため、民間事業者向けの鳥インフルエンザ防疫作業マニュアルを公表するほか、埋却地を保管する防疫措置として、化製処理による死体などの処理方法を検証していく。



伊藤ハム米久ホールディングスが業務用商品発表会を開催①

伊藤ハム米久ホールディングスは23日、東京都目黒区の東京第二事務所で2025年業務用商品発表会を開催した。会見には中嶋祐子マーケティング担当常務執行役員加工食品事業本部副事業本部長(上写真)、青木純一加工食品事業本部事業戦略統括部マーケティング部長(下写真)、武政秀明・同マーケティング部業務用企画室長、服部剛弘・同マーケティング部商品企画室長らが出席した。

会の冒頭、中嶋常務が次のようにあいさつした。

ここ1週間で一気に寒くなったと感じる。食品の売れ行きは季節、気温によって左右されるため、ここ1週間の気温変化が市場に与える影響は大きいと思われる。業務用商品は、取引先の手が加わって提供されるため、一般消費者には伊藤ハムの商品、米久の商品と認識されるわけではないが、われわれメーカーとしては、取引先とどのような市場開拓ができるのか、さまざまな戦略の立て方があって楽しみでもある。もちろん、消費者のニーズ、取引先のニーズがあり、これに合わせて商品の価値を提供していくのがわれわれの使命だと思っている。

続いて、青木部長が市場環境、提案の方向性について次のように説明した。

今回の業務用商品の提案に際し、「ブランド商品の拡充」「食変化への対応」「付加価値の提供」「新領域への挑戦」という四つのキーワードを設定した。

「ブランド商品の拡充」では、家庭用商品で培ってきたブランドを活用した商品を展開する。他店との差別化、メニュー単価の向上といった得意先の課題、「値段より納得感で選びたい」「知っているもの、ちょっと良いもの」「安心・納得・満足につながるものを購入したい」という消費者のニーズの両方に対応する商品を提案する。

「食変化への対応」では、イミ消費を訴求する。メニューの差別化、話題性、客単価や客数の向上といった得意先の課題に対応し、「誰が関わっているか、どんな背景があるか」といった意味付けの価値」「信頼・共感のある内容」「応援したい・体験してみたい」という、おいしさだけではなく、便利で共感・納得感があるという価値を提供する。話題にしやすく、思わず共有したくなる「監修」「コラボ」アイテムを中心に提案する。

さらに、冬の短期化に対して、冬野菜の高騰対策と鍋以外の家庭内消費の促進(ロールキャベツやおでん)を提案するとともに、夏の長期化に対しては、手軽に調理でき、長く続く夏メニューへのお勧め食材(涼味メニューや、軽食・辛味を中心とした商品)を提案する。

「付加価値の提供」では、クオリティー(品質的価値)、タイパ(機能的価値)、コスバ(費用対効果)という付加価値を訴求し、おいしさやこだわり、効率の良さと安定性、節約(価格)や簡便性という価値を提案する。

「新領域への挑戦」では、国内市場が成熟する中、新市場の開拓が求められている。近年取り組んでいる「畜産冷凍」の分野で業務用・家庭用の両方に対応した商品展開、輸出対応可能な食材を提案する。(連載続く)



豪大使館商務部が、万博の豪州パビリオン報告会を開催、期間中は300万人以上が来場し、165のビジネスイベントを実施

オーストラリア大使館商務部および在大阪オーストラリア総領事館は22日、大阪市北区のヒルトン大阪でメディア関係者を招き、13日に閉幕した大阪・関

西万博におけるオーストラリアパビリオンでの活動報告会を行った。

冒頭、オーストラリア大使館公使のエリザベス・

コックス貿易投資促進庁北東アジアゼネラルマネジャー(写真=左から3人目)が登壇。出席者への謝辞および、日本と豪州の経済的結びつきの強さなどを紹介した後、プロジェクトを総括した。続いて、ナンシー・ゴードン豪州パビリオン政府代表、マーガレット・ボーエン駐大阪オーストラリア総領事、マシュー・タープストラ領事、ピーター・コップマントレードコミッショナーがそれぞれの立場から、パビリオンの事業・活動報告を行った。本紙関連の概要は以下の通り。

「関西万博の豪州パビリオンは想像を上回る多くの来場者を迎え、大盛況のうちに幕を閉じた。期間中、最も人気の海外パビリオンの一つとなり、300万人超の来場者が訪れた。これは、万博の総来場者数の約13%となり、「総来場者数の10%超」という目標を達成した。パビリオンの公式マスコット“ココちゃん”も人気となり、豪州文化の魅力を正確に発信・共有できた。また、待ち時間などでもできる限り短く抑え、混雑緩和に努めた」

「(パビリオン出口前に設置されたカフェ、ギフトショップでは)期間中、ココちゃんキーホルダーが1万3千個、(フード・飲料の合計は)88万7千点を販売。ラミントン(スポンジケーキ=600円)が24万個、オージー・ミートパイ(850円)が20万個、クロコダイロロール(ワニ肉の切り身入りのサンド=1650円)が10万個売れるなど、いずれも大好評であった」

「期間中は(パビリオン前に設置されたステージで)音楽、ダンス、食、スポーツなどの文化を紹介する50の公演が開催された。また、ビジネス関連ではエネルギー、重要鉱物、AI医療、宇宙、食品などの165のイベントを開催し、多くの企業、研究機関関係者が



参加、関係強化を図った。関西だけでなく、北海道、東京、九州からも多くの企業や研究機関に参加いただき、経済技術連携の可能性を探る良い機会にもなったと考えている」

「(予想以上の注目と来場者数であったことで)農水産物・食品・飲料の魅力を一度に紹介できる絶好の機会となった。ビジネス向けのイベントでは、豪州食材を使った特別メニューの提供を行い、ホテル、フードサービス、商社などから多数の参加があり、いずれも好評を博した」

「また、パビリオンでは豪州産食材を用いたガストロノミークッキングデモ&試食会など、13の農水産物・食品・飲料事業者向けのイベントを開催した。豪州産食肉のプロモーションを行うMLAは、一般消費者向けに合計6回のオージー・ビーフ&ラムのクッキングデモンストレーションと試食イベントを行った他、関係者向けにテラスでのBBQイベントも実施した。ビーフ&ラムの合計サンプリング数は1万5千食に上り、プレスリリース転載、メディア掲載数も多く、予想以上のPR効果を果たした」

各事業の詳細な活動報告の後は、豪州産ワイン、オージー・ビーフをはじめとする豪州産食材を用いた多様な料理が供され、懇親に移った。

第96回家禽疾病小委、疫学調査結果など踏まえ議論—農水省

農水省は23日、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会第96回家禽疾病小委員会を開催し、北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認事例、疫学調査チームによる現地調査結果について議論した。なお、同委員会は非公開で行われており、概要は後日、農水省ホームページに公表予定だ。

冒頭、木下雅由審議官は「今シーズンの高病原性鳥インフルエンザについて、17日に北海道苫小牧市

において野鳥での発生が確認され、22日に北海道白老町で家禽での発生がみられた。農水省では、鳥インフルエンザ防疫対策本部を開催し、家畜伝染病防疫指針に基づき、発生農場における防疫措置を迅速かつ適切に実施し、感染経路究明のため、疫学調査などを派遣した。委員の皆さまからは今後の方針などについて議論いただきたい」と述べた。

10月の食品価格動向調査、国産牛は25円安、豚は2円安

農水省大臣官房政策課食料安全保障室はこのほど、10月(14~15日)の「食品価格動向調査」(食肉・鶏卵)の調査結果を公表した。同調査は各都道府県10店舗(全国470店舗)について訪問調査を実施。価格は特売価格などを含まない消費税込み価格で、全調査店舗の単純平均となっている。

調査によると、国産牛肉(冷蔵ロース・100g)の

全国平均小売価格は829円で前月比25円安、輸入牛肉(冷蔵ロース・100g)は400円で11円高だった。豚肉(ロース・100g)は284円で2円安、鶏肉(モモ肉・100g)は149円と2円安となった。また、平年比では国産牛肉が平年比1%安、輸入牛肉が20%高、豚肉が5%高、鶏肉が14%高となった。

大臣官房政策課食料安全保障室「食品価格動向調査(食肉・鶏卵)」による全国平均小売価格

(単位:円/100g、鶏卵は円/1パック)

調査期間	輸入牛肉 (冷蔵ロース)	国産牛肉 (冷蔵ロース)	豚肉 (ロース)	鶏肉 (モモ肉)	鶏卵 (サイズ混合・10個入)
令和7年10月 (10/14~10/15)	400	829	284	149	303
令和7年9月 (9/8~9/10)	389	854	286	151	303
令和7年8月 (8/4~8/6)	387	827	283	148	303
令和7年7月 (7/7~7/9)	394	834	278	150	299

注1:各都道府県10店舗(全国470店舗)について訪問調査。2:価格は特売価格等を含まない消費税込み価格で、全調査店舗の単純平均である。3:鶏卵は令和元年7月に「Lサイズ」から「サイズ混合」に調査規格を変更。

【SM販売統計調査9月】畜産品の売上高は前年同月比3・0%増

畜産品の売上高は1203億6070万円(3・0%増)で、相場の高騰傾向が続く中、牛肉の低調と豚肉・鶏肉など値頃商品への需要シフトが続いているほか、前年より日曜日が少ない影響も受け伸び悩んだ。牛肉は高値が続ぎ、国産を中心に買上点数が減少し苦戦傾向だが、猛暑によりBBQ、焼き関連が好調に

スーパーマーケット統計調査

9月	売上高	前年同月比	
		全店	既存店
総販売額	107,303,448	103.8%	102.4%
食料品	98,782,164	104.2%	102.7%
生鮮3部門合計	36,193,361	102.8%	101.3%
青果	15,404,501	102.3%	100.9%
水産	8,752,790	103.7%	102.0%
畜産	12,036,070	103.0%	101.3%
総菜	12,125,077	105.0%	103.4%
日配	22,188,359	104.3%	102.7%
一般食品	28,275,367	105.4%	104.4%
非食品	6,101,648	99.4%	98.7%
その他	2,419,675	101.3%	100.0%

※集計企業270社・8403店舗

JSA(日本SM協会)全国スーパーマーケット協会 AJS(オール日本SM協会)

推移した店舗もみられた。豚肉は国産の価格高騰が続ぎ、比較的安価な輸入豚が好調。鶏肉は価格高騰が続く中でも比較的堅調に推移した。加工肉は不調とする店舗が多かった。利益確保が難しいとのコメントが多くみられた。

総菜の売上高は1212億5077万円(5・0%増)

で、猛暑により家庭での調理を避ける傾向を追い風に、揚げ物・天ぷら類が好調を継続。サラダ関連や冷総菜、麺類も好調、米飯類は勢いこそ低下しているが堅調に推移した。さんまなど秋商材を使った総菜が好調とのコメントが多い。焼きそば、たこ焼きなど軽食関連も好調とのコメントが多い。一方ですし

エリア別集計	既存店
	前年同月比
北海道・東北	100.2%
関東	103.0%
中部	101.9%
近畿	103.3%
中国・四国	101.6%
九州・沖縄	104.6%

類は、生食を敬遠してか、動きが鈍い。日曜日が1回少ない影響か、焼き鳥やギョーザなどのつまみ関連はやや伸び悩んだ。

【輸入牛現物相場】先高観でCカタ系・モモ系の引き合い強まる

今週に入って気温がさらに一段下がったことで、チルドは豪州産のモモ系、カタ系の引き合いが伸びている。季節による需要、値頃感などからポイント、ナーベル、ランプ、チャックロールの引き合いが今後高まりそうだ。米国産ではチャックアイロール、ショートプレートの引き合いが強まっている。じわじわと相場が上昇しているが、量販店などを中心に先高観から引き合いが出ている。

【輸入牛現物相場】

円/キロ

		グラス	ショートグレイン
豪州産	トップサイド	1,280 ~ 1,380	1,400 ~ 1,550
	シックフランク	1,350 ~ 1,450	1,430 ~ 1,500
	アウトサイド	1,300 ~ 1,350	1,350 ~ 1,400
	ポイント	1,300 ~ 1,350	1,400 ~ 1,450
	ナーベル	1,150 ~ 1,200	1,250 ~ 1,300
	ランプ	1,600 ~ 1,650	1,750 ~ 1,950
	クロッド	1,330 ~ 1,380	1,400 ~ 1,450
	チャックロール	1,450 ~ 1,500	1,600 ~ 1,700
	チャックテンダー	1,400 ~ 1,500	1,500 ~ 1,600
	キューブロール	3,200 ~ 3,500	4,000 ~ 4,500
C	ストリップロイン	2,400 ~ 2,450	2,650 ~ 2,750
	テンダーロイン	4,200 ~ 4,500	4,500 ~ 5,000
豪州産	チャック&ブレード	-	-
	ポイント	1,320 ~ 1,450	-
	ナーベル	1,100 ~ 1,150	-
	カウミート	1,100 ~ 1,300	-
F	トップサイド	1,300 ~ 1,450	-
	シックフランク	-	-

フローズンは引き続き、量販店向け、外食店向け共にひき材中心の引き合いとなっている。そして、現地価格や為替の変動影響などから多くの部位で前週比100円程度の相場上昇がみられる。また、米国産の荷動きは鈍い。フローズンの在庫状況は適正量だが、現地価格の上昇傾向から、各社買い付けを抑えている。現状、チルドも消費は強くないため、代替需要が発生しておらず、仮に発生したとしても対応できない可能性が高い。現地価格はさらに上昇傾向で、年末に向かっては米国産、豪州産、チルド、フローズン共に相場が上がっていくと予想される。

		チルド	フローズン
米国産	スクウェアカットチャック	-	-
	ショルダークロッド	1,700 ~ 1,800	1,550 ~ 1,650
	ショートプレート	1,100 ~ 1,250	1,000 ~ 1,050
	ボンレスショートリブ(チョイス)	5,850 ~ 6,000	-
	ボンインショートリブ	-	-
	チャックリブ(チョイス)	2,400 ~ 2,900	2,300 ~ 2,400
	ストリップロイン(チョイス)	4,300 ~ 4,800	-
	リアアイロール(リップオン)	5,200 ~ 5,500	-
	テンダーロイン	5,700 ~ 6,000	-
	ステーキレディ	-	-
産	チャックアイロール(チョイス)	2,250 ~ 2,650	2,100 ~ 2,200
	同(プライム)	2,400 ~ 2,700	-

【ブロイラー市中現物相場】ブラジル産モモ正肉、カット物とも一段高

◇国産物 気温の低下に伴い、揚げ物の調理機会や鍋需要が増加したことで生鮮モモ肉は堅調に推移している。生鮮ムネ肉も需要が通年化したことで高止まりが続く。冷凍物はおおむねもちあいで推移している。

◇輸入物 外食・中食とも最需要期の冬場に向かい、荷動きは活発化している。ブラジル、タイとも

国内需要が堅調なことから、ブラジル産モモ正肉、カット物とも値を上げ、タイ産は高値張り付きが続いている。11月以降も下げ要因はない。

単位:円/キロ

ブロイラー現物相場 単位:円/キロ

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	600~650
ムネ正肉(〃)	410~490
手羽モト(〃)	300~350
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	380~500

輸入物	
米国産モモ正肉(240gUP)	460中心
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産BIL	550~570
ブラジル産モモ正肉	460~480
ブラジル産モモ角切り	460~480
ブラジル産皮なしモモ正肉	470中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	430~450
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	500中心
タイ産モモ角切り(25~30g)	500中心
米国産モモ串	玉なし

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年9月21日～9月27日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	
		和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	3,398	4,055		4,600	4,004	6,930		3,357	3,672
カタタ	3,561			3,570	3,599	3,578	16,858		3,276	3,417	3,888	3,580	7,075
カタバラ	2,160			2,214	2,461	2,216	3,126		2,279	2,279	2,352	2,290	1,347
マエセット	-			-	-	-	774		-	-	-	-	-
ヒレ	8,305			9,936	10,731	9,883	1,432		9,180	9,865	10,044	9,793	1,361
ロイン	5,940			7,308	9,285	7,258	2,613		5,184	5,400	5,832	5,365	3,097
ロインセット	5,616			5,909	6,858	6,161	1,155		-	-	-	-	187
トモバラ	1,728			2,050	2,375	2,071	12,162		1,890	2,674	3,348	2,664	7,034
ウチモモ	3,778			4,212	4,291	4,180	4,120		3,820	4,320	4,320	4,217	1,454
シンタマ	3,888			4,212	4,213	4,130	3,425		3,732	4,320	4,320	4,211	1,145
ランイチ	3,877			3,964	4,212	4,034	3,301		3,920	4,320	4,320	4,266	1,162
ソトモモ	3,240			3,672	3,770	3,533	3,517		-	-	-	-	805
スネ	1,944			1,987	2,210	1,999	3,660		1,944	2,030	2,182	2,043	3,218
モモセット	3,996			4,077	4,218	4,106	10,401		3,456	3,802	3,942	3,718	13,703
セット	3,510	3,994	4,264	3,943	27,148		3,104	3,348	3,832	3,365	8,353		
重量合計						100,622						55,245	
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	3,238	3,240	5,292	3,716	1,807		2,970	2,970	3,510	3,100	2,561
		カタタ	3,024	3,240	5,292	3,437	1,767		-	-	-	-	929
		カタバラ	-	-	-	-	803		-	-	-	-	511
		ヒレ	-	-	-	-	522		-	-	-	-	228
		ロイン	-	-	-	-	456		-	-	-	-	328
		トモバラ	1,782	1,944	3,780	2,377	2,442		1,782	1,782	3,996	2,269	1,718
		ウチモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	196
		シンタマ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	560
		ランイチ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	288
		ソトモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	273
		スネ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	438
		モモセット	3,375	3,780	3,888	3,755	1,109		-	-	-	-	-
		セット	3,637	3,637	3,637	3,637	4,052		3,053	3,788	4,060	3,647	4,657
		重量合計						12,958					

(令和7年9月21日～9月27日)

交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,710	2,937	3,184	2,942	8,798		2,754	3,024	3,261	3,007	12,593
		カタタ	2,484	2,829	2,939	2,758	7,969		2,354	2,430	2,591	2,417	10,987
		カタバラ	2,459	2,592	2,762	2,580	3,099		1,531	1,591	1,636	1,583	4,096
		ヒレ	5,616	6,061	6,480	6,124	3,885		6,156	6,696	6,971	6,611	2,724
		ロイン	4,136	4,339	4,839	4,455	2,286		4,104	4,536	4,707	4,578	7,388
		トモバラ	1,512	2,484	3,240	2,496	8,113		1,512	1,620	2,160	1,718	11,357
		ウチモモ	2,268	2,484	2,662	2,487	4,235		2,376	2,484	2,581	2,469	4,412
		シンタマ	2,538	2,668	2,899	2,695	3,637		2,376	2,592	2,808	2,589	4,913
		ランイチ	2,484	2,592	2,740	2,594	4,039		2,484	2,538	2,700	2,557	5,095
		ソトモモ	1,998	2,160	2,268	2,149	3,040		2,214	2,376	2,484	2,366	5,135
		スネ	1,561	1,620	1,674	1,602	3,344		1,620	1,620	1,839	1,670	5,038
		モモセット	-	-	-	-	-		2,538	2,739	2,916	2,737	6,481
		セット	2,762	2,916	3,343	2,981	22,557		3,016	3,104	3,266	3,135	48,832
		重量合計						75,002					

乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,567	2,916	3,687	2,961	4,081		2,500	2,592	3,099	2,732	4,557
		カタタ	-	-	-	-	649		1,831	1,998	2,214	2,003	4,835
		カタバラ	-	-	-	-	16		-	-	-	-	-
		三角バラ	-	-	-	-	-		2,185	2,894	3,510	2,784	1,158
		ブリスケット	-	-	-	-	-		1,296	1,372	1,458	1,362	3,484
		ヒレ	5,280	5,400	5,624	5,450	1,460		4,860	5,400	5,940	5,383	1,803
		ロイン	3,232	3,240	3,564	3,320	1,311		3,240	3,416	3,780	3,443	4,911
		トモバラ	2,327	2,722	3,294	2,848	2,956		1,242	1,404	1,839	1,499	6,323
		ウチモモ	2,120	2,273	2,273	2,217	1,527		1,998	1,998	2,268	2,033	5,224
		シンタマ	2,110	2,268	2,273	2,203	1,671		1,836	1,998	2,052	1,961	1,810
		ランイチ	2,110	2,188	2,273	2,199	2,346		1,890	1,998	2,160	2,007	2,089
		ソトモモ	1,149	1,944	2,106	1,695	1,156		1,836	1,998	2,106	1,999	1,475
		スネ	1,512	1,512	1,674	1,574	1,553		1,566	1,645	2,052	1,649	4,267
		セット	2,535	2,535	2,535	2,535	9,517		1,868	2,041	2,043	1,971	28,447
重量合計						28,243						70,383	

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈輸入牛肉〉

(令和7年9月16日～9月30日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量 kg)

		首都圏					近畿圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,484	2,624	2,839	2,673	9,198	1,901	2,106	2,430	2,116	2,220
	ショートプレート	1,176	1,253	1,543	1,292	69,348	1,172	1,274	1,350	1,271	20,607
	リブアイロールリップオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
	チャックリブ	3,197	3,197	3,197	3,197	10,633	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	2,398	2,398	2,398	2,398	2,643	2,322	2,462	2,484	2,435	1,324
	ショートプレート	1,058	1,079	1,134	1,085	18,368	1,058	1,080	1,080	1,079	19,205
豪州チルド	チャックアイロール	2,041	2,041	2,041	2,041	2,369	-	-	-	-	-
	チャックロール	-	-	-	-	-	1,685	1,685	1,685	1,685	6,329
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96
	クロッド	1,442	1,555	1,588	1,517	1,904	1,507	1,507	1,598	1,515	3,713
	ポイント&ブリスケット	1,588	1,588	1,588	1,588	1,233	-	-	-	-	783
	ナーベル&ブリスケット	1,418	1,418	1,436	1,420	1,291	-	-	-	-	260
	チャックショートリブ	-	-	-	-	590	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	2,700	2,700	2,700	2,700	5,569	-	-	-	-	-
	テンダーロイン	5,292	5,832	5,832	5,764	1,579	-	-	-	-	-
	トップサイド	-	-	-	-	964	1,717	1,717	1,760	1,719	1,573
	シックフランク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
	D-ランプ	-	-	-	-	118	-	-	-	-	-
アウトサイド	1,588	1,588	1,588	1,588	2,602	1,458	1,507	1,544	1,501	3,390	
取引重量合計		128,480					59,576				
		中京圏					九州圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,106	2,398	2,398	2,332	2,399	1,976	2,322	2,376	2,226	9,255
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	チャックリブ	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	-	-	-	-	-	2,408	2,516	2,592	2,517	2,821
	ショートプレート	1,026	1,026	1,080	1,037	11,025	1,026	1,048	1,102	1,050	15,345
豪州チルド	チャックロール	-	-	-	-	431	-	-	-	-	616
	チャックテンダー	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-
	クロッド	-	-	-	-	191	-	-	-	-	-
	ポイント&ブリスケット	-	-	-	-	915	-	-	-	-	-
	ナーベル&ブリスケット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	-	-	-	-	22	-	-	-	-	149
	テンダーロイン	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-
	トップサイド	1,825	1,825	1,836	1,825	3,421	-	-	-	-	501
	シックフランク	1,642	1,642	2,347	1,852	1,056	-	-	-	-	56
D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アウトサイド	-	-	-	-	461	-	-	-	-	-	
取引重量合計		20,031					28,743				

※豪州産の価格はすべてグレインフェッド・ミドル。

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 10月23日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 131頭	高値	4,163	2,597	2,136	-	-
		安値	2,178	2,160	2,080	-	-
		平均	2,652	2,311	2,110	1,728	-
		頭数	84	41	5	1	-
	雌 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 A 154頭	高値	3,876	2,484	2,187	-	-
		安値	2,154	2,067	2,108	-	-
		平均	2,569	2,269	2,151	2,013	-
		頭数	103	37	13	1	-
去 B -頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 16頭	平均	-	1,814	1,551	1,471	-
		頭数	-	1	10	5	-
	雌 C 7頭	平均	-	1,544	1,478	1,391	-
		頭数	-	2	3	2	-
	去 B 27頭	平均	-	1,866	1,656	1,497	-
		頭数	-	4	7	16	-
去 C 5頭	平均	-	1,585	1,625	1,440	-	
	頭数	-	1	2	2	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	327 423	1,043 858	- 209.0	(競り)	(相対)	
				-	6	69

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,542	1,933	1,642	1,564	-
	B	-	-	1,589	1,494	-
和 去	A	2,476	2,192	1,655	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,039	966
	C	-	-	-	1,013	958
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,548	1,498	1,406	-
	C	-	-	1,441	1,331	-
交 去	B	1,838	1,693	1,534	1,415	-
	C	-	1,581	1,520	1,317	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	640	757	583	592	509
	安値	518	495	475	454	140
	平均	559	518	508	501	483
	頭数	(6)	(320)	(318)	(78)	(136)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	528
	安値	-	-	-	-	528
	平均	-	-	-	-	528
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(6)

[大阪食肉卸売市場] 10月23日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,413	2,110	-	-	-
(頭数)	(27)	(13)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(1)	(1)	(-)
和 去 A	2,332	2,057	-	-	-
(頭数)	(9)	(7)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,899	1,539	1,458	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,689	1,572	1,535	-
C	-	1,577	1,575	-	-
豚	-	-	564	432	477

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	10月23日	10月22日	(10月累計)
豚	67,200	67,400	1,060,100
成牛計	3,650	4,500	68,830
和牛雌	920	1,270	17,570
和牛去勢	900	1,110	17,820
乳牛雌	650	800	11,530
乳牛去勢	440	390	6,410
交雑雌	350	440	6,940
交雑去	390	490	8,400

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 10月23日

	1,515円	(前日 1,496円)
東京		
大阪	1,511円	(前日 1,501円)

[豚・全農建値] 10月23日

上	中	取引頭数	市況
522円	507円	1,326頭	強もちあい

と畜 売買	牛 70頭 牛 97頭	豚 130頭 豚 97頭	牛概況 豚概況	もちあい まぢまち
----------	----------------	-----------------	------------	--------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 10月23日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	562 (562)	- (-)	5,964	-	もちあい
仙台 [中]	- (535)	461 (508)	411	23	-
栃木 [地]	499 (532)	471 (488)	1,591	75	下押し
茨城 [地]	517 (511)	492 (487)	1,299	843	上伸
群馬 [地]	525 (513)	444 (430)	2,129	299	続伸
さいたま [中]	528 (517)	519 (509)	250	254	反発
東京 [中]	518 (514)	508 (501)	1,043	858	強もちあい
横浜 [中]	521 (522)	496 (496)	687	687	もちあい
山梨 [地]	659 (510)	490 (475)	190	161	まちまち
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	538 (544)	518 (516)	968	292	下押し
京都 [中]	621 (-)	559 (-)	63	90	もちあい
大阪 [中]	- (592)	564 (529)	130	60	-
神戸 [中]	606 (-)	586 (-)	52	135	-
岡山 [地]	661 (664)	638 (639)	291	389	もちあい
広島 [中]	- (559)	- (531)	379	24	-
福岡 [中]	551 (558)	518 (535)	573	244	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 10月16日～10月22日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,657,235 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,103	1,199	1,263	1,198	79,109
うで	686	775	824	765	136,855
ロース	1,112	1,169	1,212	1,162	158,005
ばら	1,188	1,264	1,320	1,267	171,661
もも	752	767	834	778	225,029
ヒレ	1,053	1,188	1,260	1,147	15,519
セット	910	1,022	1,103	1,010	871,057

◇近畿圏 総重量 756,212 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,184	1,350	1,395	1,324	59,293
うで	673	775	832	765	124,795
ロース	1,058	1,230	1,300	1,209	102,356
ばら	1,285	1,318	1,382	1,322	135,558
もも	715	756	842	764	171,244
ヒレ	1,188	1,274	1,403	1,290	9,936
セット	882	1,004	1,101	1,007	153,030

[食鳥正肉日経相場] 10月22日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京(8社)※休載

	安値	加重平均	高値	販売量(t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪(2社)

	安値	加重平均	高値	販売量(t)
モモ	676	736	1,030	4
ムネ	501	541	636	1

[農水省統計情報部食鳥市況] 10月21日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,008	777	550	600	650
安値	640	500	290	360	350
平均	751	583	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクカット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーショナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します